

福岡県の教育に関する基本的な問題意識

1 子供についての本質的な課題

学ぶ意欲の低下

自尊感情の喪失

社会と自分との関わり意識の希薄化

(規範意識、モラルの低下など)

体力の低下

2 背景にあると思われる課題

IT・メディア社会、バーチャルリアリティの影響

親の養育態度の変化、家庭の教育力の低下

地域・社会の教育力の低下

学校教育(経営・指導力)の問題

福岡の教育の現状と課題について (参考資料の概要)

「学ぶ意欲等」について

- ・ 小学生(苦手な教科:算数、理科 苦手な観点:思考判断、技能表現処理)
中学生は国語以外の教科、全ての観点で、出題側が期待するレベルに達していない。
(p3 表2-1、2-2)
- ・ 授業が楽しい 中学生になると減少。(p5 図2-3)
- ・ 家庭での学習時間 中学生になると全くしない層と長時間する層の両極が増加。
(p6 図2-4)
- ・ 成績上位にも関わらず授業が楽しくない層は、中学生で増加。
(p7 図2-5、2-6)

「子どもの意識」について

- ・ いわゆる逸脱行為を「悪いとは思わない」子供は高校生で増加。(p8 図3-1)
- ・ 自分に対する自信、自分を肯定する気持ち、他者への信頼感などを持ってない子供の割合は、小学生から中学生になると全項目で増えるが、中学生と高校生の間では、項目により増減傾向は異なる。(p9 図3-2)
- ・ 日本の中学生は、自信度(自尊感情)を示す全ての項目について、他の3国より低い。(p10 図3-3)

「体力」について

- ・ 本県の子供の体力、運動能力は長期的な低下傾向にあり、また、全国平均より劣る項目が多い状況である。(p11 図4-1~p13 図4-16)
- ・ 一方、運動部活動の加入状況は、中学生は横ばい、高校生は増加傾向。
(p13 表4-1、4-2)

「家庭教育及び親の養育態度」について

- ・ 子供に対する過保護、過干渉の親の増加傾向。(p17 図6-1、6-2)
- ・ しつけについて学習しない親(特に父親)の増加。(p18 図6-3)
- ・ しつけについての自信の有無は概ね半々。(p18 図6-4)

「幼児教育」について

- ・ ほとんどの幼稚園において、地域の教育機関や団体、人材を活用した教育を行っている。(p19 表7-2)

「生活習慣」及び「子どもとメディア」について

- ・ 就寝時刻、睡眠時間、朝食摂取、テレビ視聴時間、ゲーム時間
(p15 図5-2~p17 図5-12)
- ・ 携帯電話と有害情報へのアクセス、危険性の認識。(p20 表8-1、8-3
p21 表8-5)

教育力向上福岡県民会議 参考資料

資料 1 福岡県の学校の概況

資料 2 学ぶ意欲等に関する資料
教科の学力
学ぶ意欲
学習習慣
伸びる子を伸ばす学習指導

資料 3 子どもの意識に関する資料
中・高校生が悪いと思わない行為の割合
小・中・高校生が日頃感じていること
4カ国の中学3年生の自信度（自尊感情）の比較

資料 4 体力に関する資料
小中学生の運動能力の経年比較
平成18年度の体力・運動能力調査の結果
運動部活導入部率の推移

資料 5 生活習慣に関する資料
起床、睡眠、就寝、朝食、テレビ視聴、ゲーム、手伝い

資料 6 家庭教育、親の養育態度に関する資料
子供へのかかわり方、しつけ等について

資料 7 幼児教育に関する資料
0～5歳児の保育、通園状況
幼稚園と地域との連携状況等
福岡県内の認定子ども園設置状況

資料 8 子どもとメディアに関する資料
携帯電話の所持状況、利用状況
フィルタリングサービス導入の有無
家庭内でのルール等
有害な情報へのアクセス状況

1 福岡県の学校の概況（平成19年5月1日現在）

表1-1 福岡県内学校・園数

| ()分校・分園 外数 | 国立 | 県立 | 市町村 組合立 | 私立 | 計 | |
|------------------|-----|-------|------------|-----|--------|-------|
| | 校 | 校 | 校 | 校 | 校 | |
| 幼稚園 | 1 | 0 | 70(1) | 436 | 507(1) | |
| 小学校 | 3 | 0 | 759(9) | 7 | 769(9) | |
| 中学校 | 3 | 2 | 343(3) | 28 | 376(3) | |
| 中等教育学校 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | |
| 高等学校 計204(3)校 | 全日制 | 0 | 96 | 10 | 60 | 166 |
| | 定時制 | 0 | 23 | (3) | 0 | 23(3) |
| | 通信制 | 0 | 1 | 0 | 4 | 5 |
| | 専攻科 | 0 | 2 | 0 | 8 | 10 |
| 特別支援学校 | 0 | 21(2) | 19 | 0 | 40(2) | |

表1-2 福岡県内学級数

| | 国立 | 県立 | 市町村 組合立 | 私立 | 計 |
|------------------|-----|-------|------------|-------|--------|
| | 学級 | 学級 | 学級 | 学級 | 学級 |
| 幼稚園 | 3 | | 211 | 2,785 | 2,999 |
| 小学校 | 43 | | 10,196 | 69 | 10,308 |
| 中学校 | 30 | 18 | 4,263 | 221 | 4,532 |
| 中等教育学校 | | 12 | | | 12 |
| 高等学校 計2,251学級 | 全日制 | 1,875 | 192 | | 2,067 |
| | 定時制 | 171 | 13 | | 184 |
| | 通信制 | | | | |
| | 専攻科 | | | | |
| 特別支援学校 | | 488 | 602 | | 1,090 |

表1-3 福岡県内児童・生徒数

| | 国立 | 県立 | 市町村 組合立 | 私立 | 計 |
|-------------------|-------|--------|------------|--------|---------|
| | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| 幼稚園 | 73 | | 4,378 | 61,441 | 65,892 |
| 小学校 | 1,488 | | 281,643 | 2,308 | 285,439 |
| 中学校 | 1,102 | 711 | 135,820 | 7,473 | 145,106 |
| 中等教育学校 | | 445 | | | 445 |
| 高等学校 計141,579人 | 全日制 | 72,579 | 7,448 | 52,265 | 132,292 |
| | 定時制 | 3,548 | 226 | | 3,774 |
| | 通信制 | 1,934 | | 2,788 | 4,722 |
| | 専攻科 | 67 | | 724 | 791 |
| 特別支援学校 | | 2,094 | 2,292 | | 4,386 |

表 1 - 4 福岡県内教員数

| | 国立 | 県立 | 市町村 組合立 | 私立 | 計 |
|-----------------|-----|-------|------------|-------|--------|
| | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| 幼稚園 | 5 | | 317 | 4,258 | 4,580 |
| 小学校 | 56 | | 15,299 | 127 | 15,482 |
| 中学校 | 52 | 36 | 8,942 | 428 | 9,458 |
| 中等教育学校 | | 34 | | | 34 |
| 高等学校 計8,717人 | 全日制 | 4,894 | 548 | 2,839 | 8,281 |
| | 定時制 | 344 | 32 | | 376 |
| | 通信制 | 33 | | 27 | 60 |
| | 専攻科 | | | | |
| 特別支援学校 | | 1,136 | 1,310 | | 2,446 |

校長、教頭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、講師

表 1 - 5 福岡県内事務職員等数

| (公立小中は負担法のみ) 事務職員、学校栄養職員、 寄宿舎指導員を含む | 国立 | 県立 | 市町村 組合立 | 私立 | 計 |
|---|-----|-----|------------|-----|-------|
| | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| 幼稚園 | 1 | | 3 | 416 | 420 |
| 小学校 | 15 | | 1,056 | 13 | 1,084 |
| 中学校 | | 2 | 425 | 54 | 481 |
| 中等教育学校 | | 5 | | | 5 |
| 高等学校 計1,049人 | 全日制 | 568 | 50 | 370 | 988 |
| | 定時制 | 40 | 4 | | 44 |
| | 通信制 | 7 | | 10 | 17 |
| | 専攻科 | | | | |
| 特別支援学校 | | 260 | 100 | | 360 |

事務職員（吏員担当者、担当外）、負担法による学校栄養職員、寄宿舎指導員等

表 1 - 6 福岡県内その他の職員数

| | 国立 | 県立 | 市町村 組合立 | 私立 | 計 |
|---------------|-----|-----|------------|-----|-------|
| | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| 幼稚園 | | | 5 | 428 | 433 |
| 小学校 | 19 | | 2,330 | 9 | 2,358 |
| 中学校 | | 1 | 624 | 23 | 648 |
| 中等教育学校 | | 1 | | | 1 |
| 高等学校 計900人 | 全日制 | 612 | 44 | 215 | 871 |
| | 定時制 | 27 | 1 | | 28 |
| | 通信制 | | | 1 | 1 |
| | 専攻科 | | | | |
| 特別支援学校 | | 112 | 78 | | 190 |

学校図書館事務員、技術職員、実習助手、養護職員、用務員等

2 学ぶ意欲等に関する資料

小学校では国語、社会は期待正答率とほぼ同程度、算数、理科は期待正答率を5%以上下回っている。(表2-1)

中学校では国語は期待正答率とほぼ同程度、社会、算数、理科、英語は期待正答率を5%以上下回っている。(表2-2)

基礎的・基本的な知識や理解の正答率が最も高く、思考力や判断力の正答率が最も低い。(表2-1、2)

解答形式別では、選択式が最も正答率が高く、論述式が最も低い。

(表2-1、2)

市町村の平均正答率の差は、小、中とも最大で20ポイント以上ある。

(図2-1、2)

授業の楽しさ、学習の有用感、問題に対する取り組み方などの学ぶ意欲に関する項目は、小学校よりも中学校が低い。(図2-3)

学校以外で学習する時間、毎日の家庭学習の習慣では、「しない」割合が小学校で約1割、中学校で約2割である。(図2-4)

平成18年度地方分権研究会統一学力テスト結果

平成18年度福岡県学習状況調査結果

(1) 教科の学力(各種学力実態調査)

ア 小・中学校(平成18年度 地方分権研究会統一学力テスト 小5、中2対象 悉皆)

表2-1 小学校の結果

| | 教科別正答率 | | | | 観点別(国語を除く) 正答率 | | | 解答形式別正答率 | | |
|-------|--------|------|------|------|-------------------|--------|------|----------|------|------|
| | 国語 | 社会 | 算数 | 理科 | 思考判断 | 技能表現処理 | 知識理解 | 選択式 | 記述式 | 論述式 |
| 4県 | 71.9 | 68.6 | 69.5 | 61.3 | 59.9 | 64.8 | 71.1 | 70.8 | 67.0 | 43.5 |
| 期待正答率 | 71.3 | 70.7 | 73.0 | 68.9 | 68.1 | 71.5 | 72.5 | 71.7 | 72.1 | 62.9 |
| 福岡県 | 70.7 | 66.2 | 67.5 | 58.3 | 56.9 | 62.6 | 68.7 | 69.1 | 65.2 | 36.2 |

表2-2 中学校の結果

| | 教科別正答率 | | | | | 観点別 (国語、英語を除く) 正答率 | | | 解答形式別正答率 | | |
|-------|--------|------|------|------|------|--------------------------|--------|------|----------|------|------|
| | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 英語 | 思考判断 | 技能表現処理 | 知識理解 | 選択式 | 記述式 | 論述式 |
| 4県 | 66.0 | 56.0 | 57.6 | 53.6 | 65.3 | 52.6 | 55.0 | 55.9 | 62.8 | 53.3 | 39.8 |
| 期待正答率 | 69.7 | 65.8 | 68.7 | 66.0 | 73.3 | 64.5 | 66.4 | 67.9 | 70.6 | 67.8 | 57.2 |
| 福岡県 | 64.9 | 55.2 | 57.5 | 52.7 | 63.9 | 51.9 | 53.9 | 55.6 | 62.2 | 52.2 | 38.2 |

【教科別】

小学校は、国語、社会は期待正答率の±5%の範囲内で同程度であり、算数、理科は、期待正答率を5%以上下回っている。

中学校は、国語が期待正答率の±5%の範囲内で同程度である。その

他の教科は期待正答率を5%以上下回っている。

【観点別】

小学校は知識・理解が、期待正答率の±5%の範囲内で同程度である。技能・表現・処理、思考・判断は期待正答率を下回っている。

中学校は全ての観点で期待正答率を5%以上下回っている。知識・理解が最も高く、次いで技能・表現・処理、思考・判断である。

【解答形式別】

小・中学校とも選択式が最も正答率が高く、次いで記述式、論述式である。特に、論述式は期待正答率を大きく下回っている。

(2) 市町村ごとの正答率の分布(平成18年度 地方分権研究会統一学力テスト)

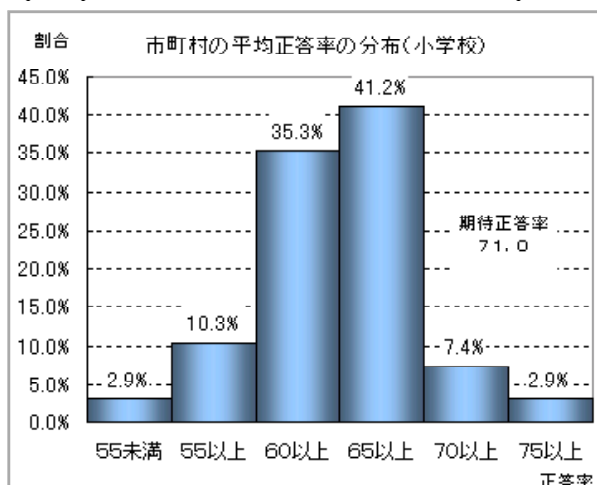


図2-1 市町村の正答率分布(小学校)

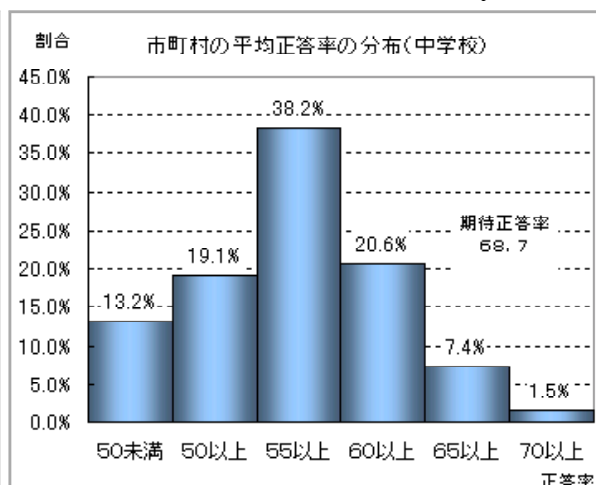


図2-2 市町村の正答率分布(中学校)

27市、37町、4村(政令市含む、みやま市はテスト実施日には未合併)

小学校は正答率が65%以上70%未満の市町村が最も多く、全体の41.2%(28市町村)である。期待正答率を上回っている市町村は5.9%(4)である。

中学校は正答率が55%以上60%未満の市町村が最も多く、全体の38.2%(26)である。期待正答率を上回っている市町村は1.5%(1)である。

小学校と中学校を比較すると、正答率が55%未満の市町村が中学校に多く、全体の32.3%(22)である。小中学校の期待正答率の差は2.3ポイント、正答率が55%未満の市町村は小学校が2.9%(2)であることから、中学校の方が学力の定着状況に課題がある。

「期待正答率」: 学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけて学んだ場合、個々の問題ごとに正答できることを期待した児童・生徒の割合を想定したもので、地方分権研究会が設定したもの。

「正答率」: 問題ごとに、実際に正答した児童生徒の数の割合を示したもの。

(3) 学ぶ意欲

ア 小・中学校（平成18年度 福岡県学習状況調査より 小5、中2実施 悉皆）

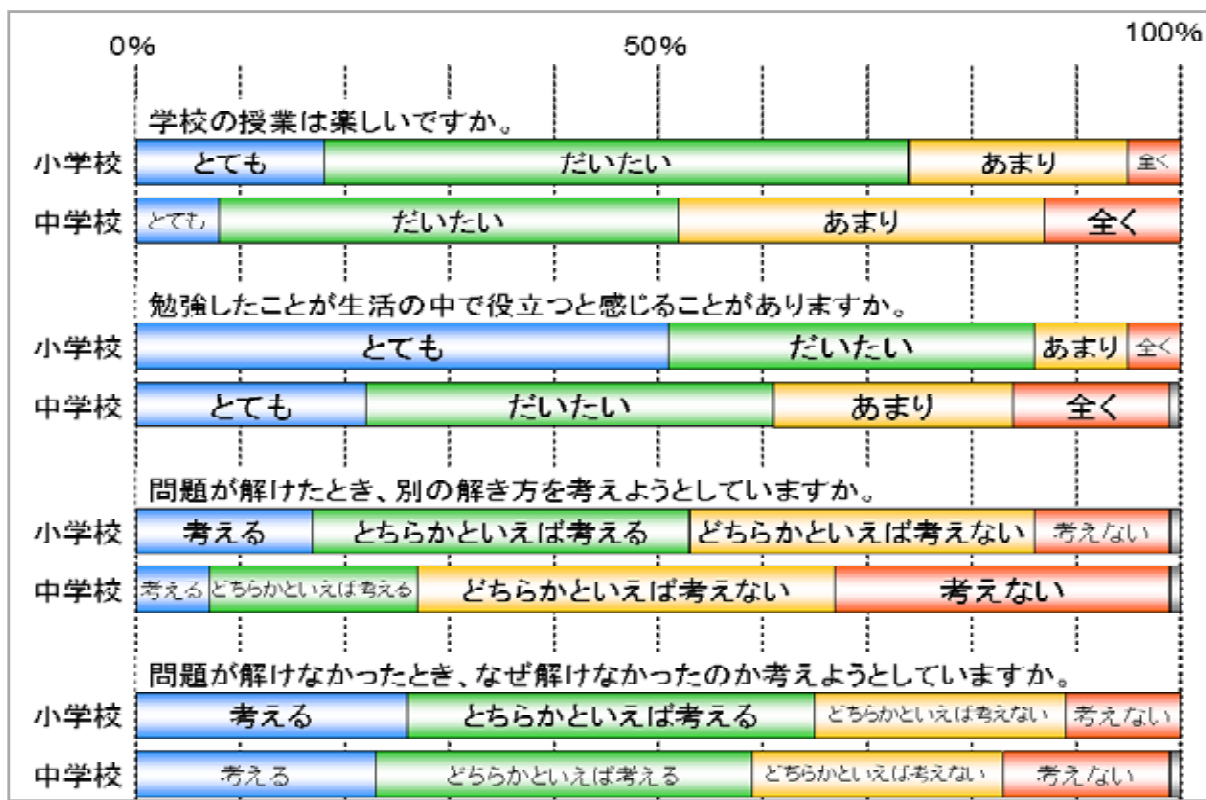


図2-3 学ぶ意欲に関連する調査結果

学校の授業については、小学校では26.2%の児童、中学校では47.6%の生徒が「(あまり)楽しくない」と感じている。

勉強したことが生活の中で役立つと感じることについては、「(あまり)ない」は、小学校で13.9%、中学校で38.1%である。

問題が解けたときに別の解き方を「(どちらかといえば)考えない」は、小学校で46.1%、中学校で72.2%である。

イ 高等学校（平成17年度高等学校教育課程実施状況調査より 高3実施 抽出15万人）
国全体の傾向

表2-3 【問】「勉強が好きだ」に対する回答結果

| 区分 | そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえばそう思わない | そう思わない | 分からない | 無回答 |
|-----|------|--------------|----------------|--------|-------|-----|
| H17 | 5.0 | 17.1 | 30.3 | 42.0 | 5.2 | 0.4 |
| H15 | 4.2 | 15.7 | 29.4 | 44.3 | 5.9 | 0.4 |
| H14 | 4.6 | 15.4 | 29.7 | 43.8 | 6.0 | 0.4 |

前回調査と比べて、「勉強が好きだ」と回答した割合が増加傾向にある。

(4) 学習習慣

ア 小・中学校（平成18年度 福岡県学習状況調査より 小5、中2実施 悉皆）

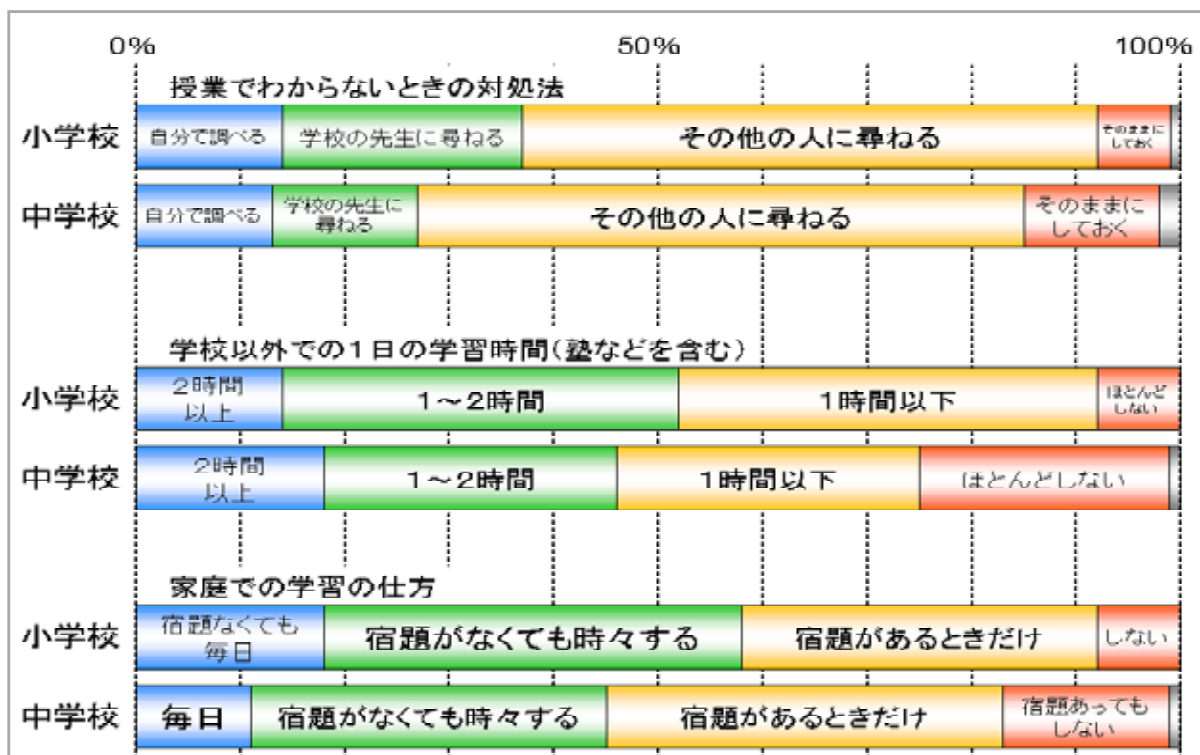


図2-4 学習習慣に関する調査結果

「授業でわからないとき」に、「そのままにしておく」は小学校で6.5%、中学校で13.1%である。

学校の授業時間以外の1日の学習時間(土日除く、塾・家庭教師含む)は、「ほとんど、全くしない」が、小学校が8.3%、中学校が24.1%である。

家庭での学習については、「しない」が小学校で7.8%、中学校で15.8%である。また、「宿題があるときだけする」が小学校で34.6%、中学校で38.5%である。

イ 高等学校（平成17年度高等学校教育課程実施状況調査より 高3実施 抽出15万人）
国全体の傾向

表2-4 【問】「学校以外で1日に勉強する時間」に対する回答結果(%)

| 区分 | 全く、またはほとんどしない | 30分より少ない | 30分以上、1時間より少ない | 1時間以上、2時間より少ない | 2時間以上、3時間より少ない | 3時間以上 | 無回答 |
|-----|---------------|----------|----------------|----------------|----------------|-------|-----|
| H17 | 39.3 | 8.2 | 7.6 | 9.8 | 10.8 | 23.9 | 0.3 |
| H15 | 40.8 | 8.0 | 7.7 | 10.1 | 11.0 | 21.8 | 0.6 |
| H14 | 41.0 | 7.6 | 7.4 | 9.8 | 11.0 | 22.6 | 0.5 |

3時間以上勉強する生徒の割合は、前回調査と比べ、増加傾向にある。

(5) 伸びる子を伸ばす学習指導

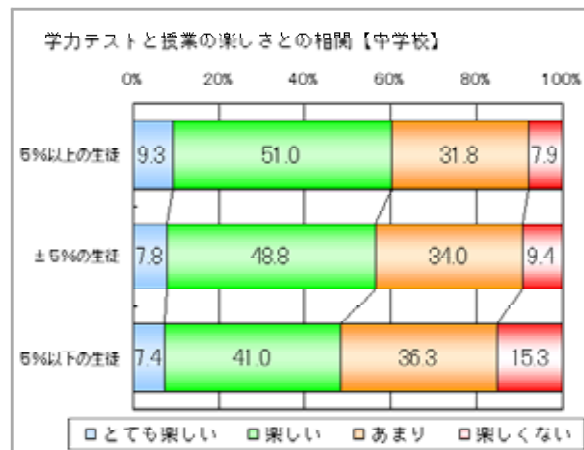
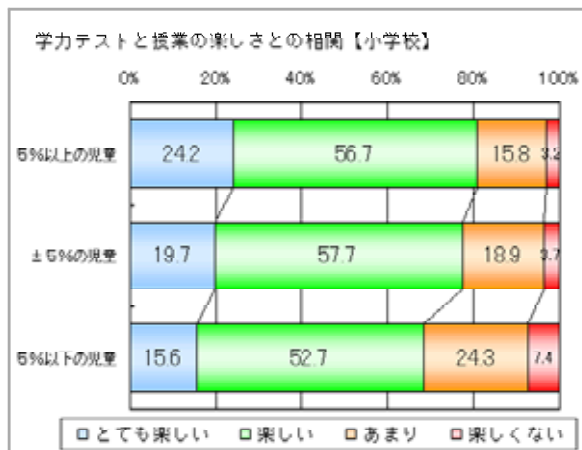


図2-5 学力テストと授業の楽しさの相関(小) 図2-6 学力テストと授業の楽しさの相関(中)

授業の楽しさと学力テストとの相関では、期待正答率を5%以上上回っている児童・生徒のうち小学校が19.0%、中学校が39.7%、授業を「(あまり)「楽しくない」と感じている。

3 子どもの意識に関する資料

中学生よりも高校生のほうが、いろいろな行為を「悪いとは思わない」割合が高い。

「自分は何をやってもだめな人間」と感じる事が「よく、ときどきある」と回答した割合は学年が上がるにつれ増加し、中・高校生は半数を超える。

教師の30%以上が「おおむね満足できる状態にある」と判断した道徳の内容項目は、学年が上がるにつれ減少している。

(1) 中・高校生が悪いと思わない行為の割合

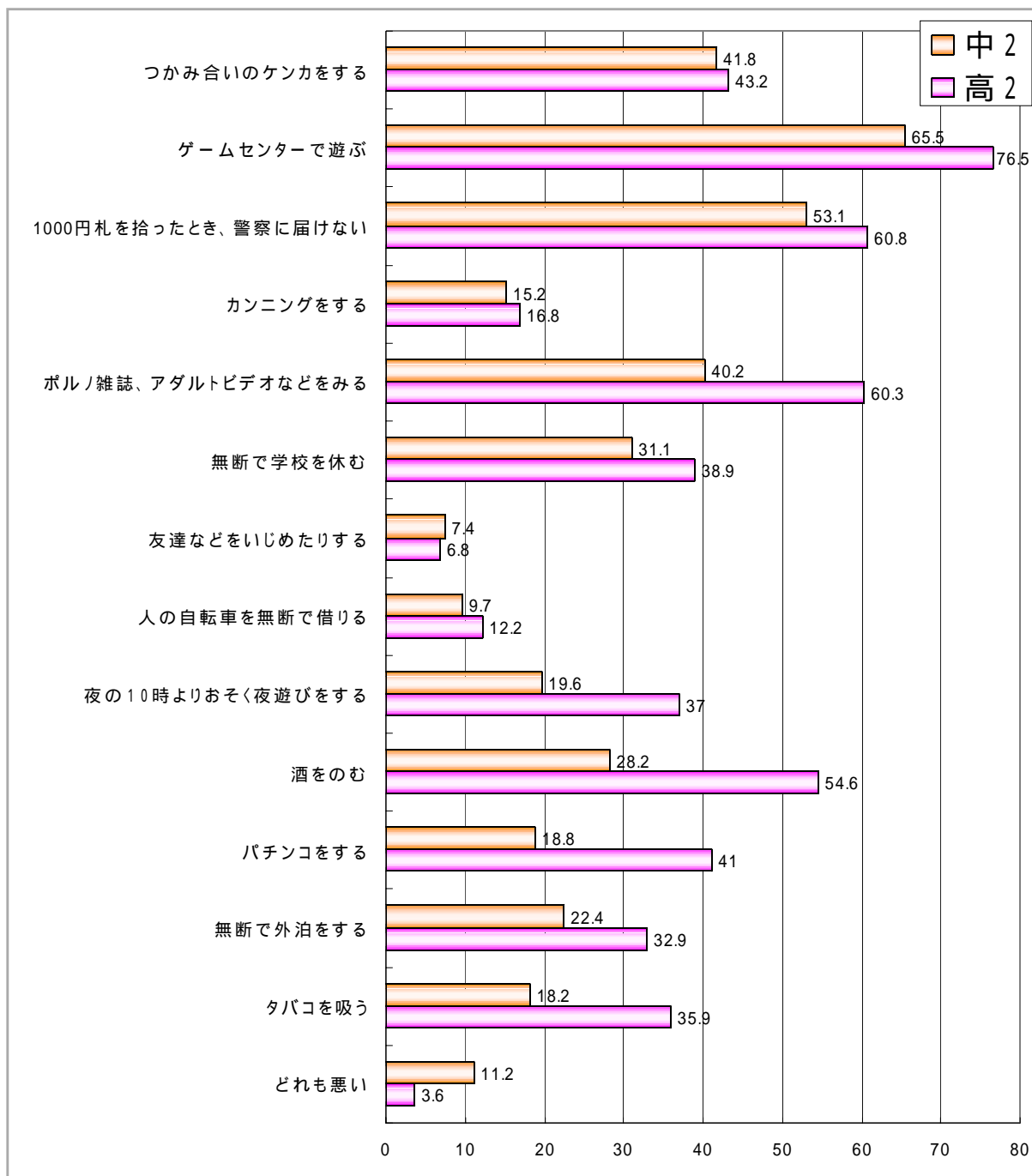


図3 - 1 悪いとは思わない行為 (H13 青少年に関する意識及び行動調査 福岡県)

(2) 小・中・高校生が日頃感じていること

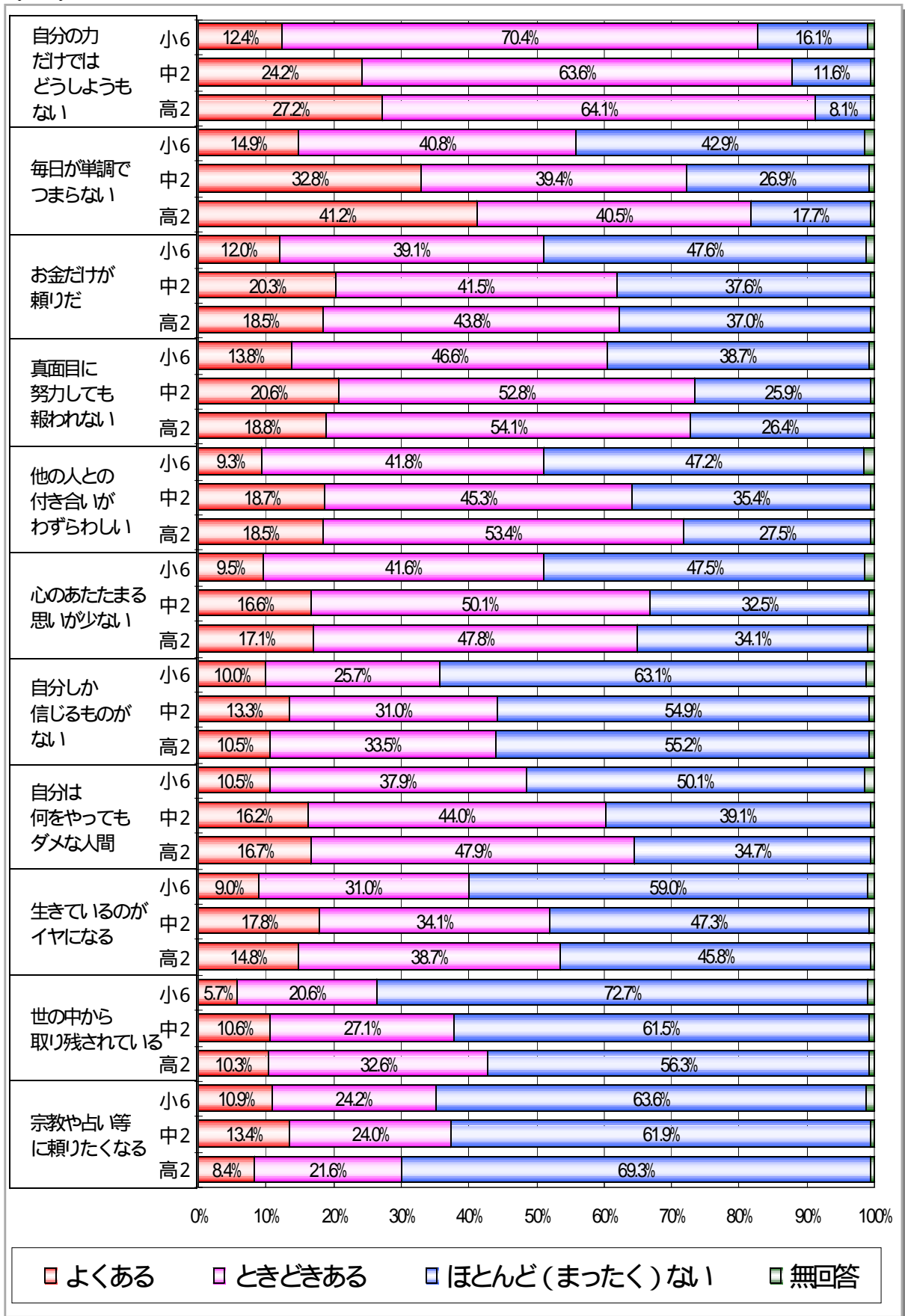


図3-2 小・中・高校生が日頃感じていること (H13 青少年に関する意識及び行動調査 福岡県)

(3) 4 国 の 中 学 校 3 年 生 の 自 信 度 (自 尊 感 情) 比 較

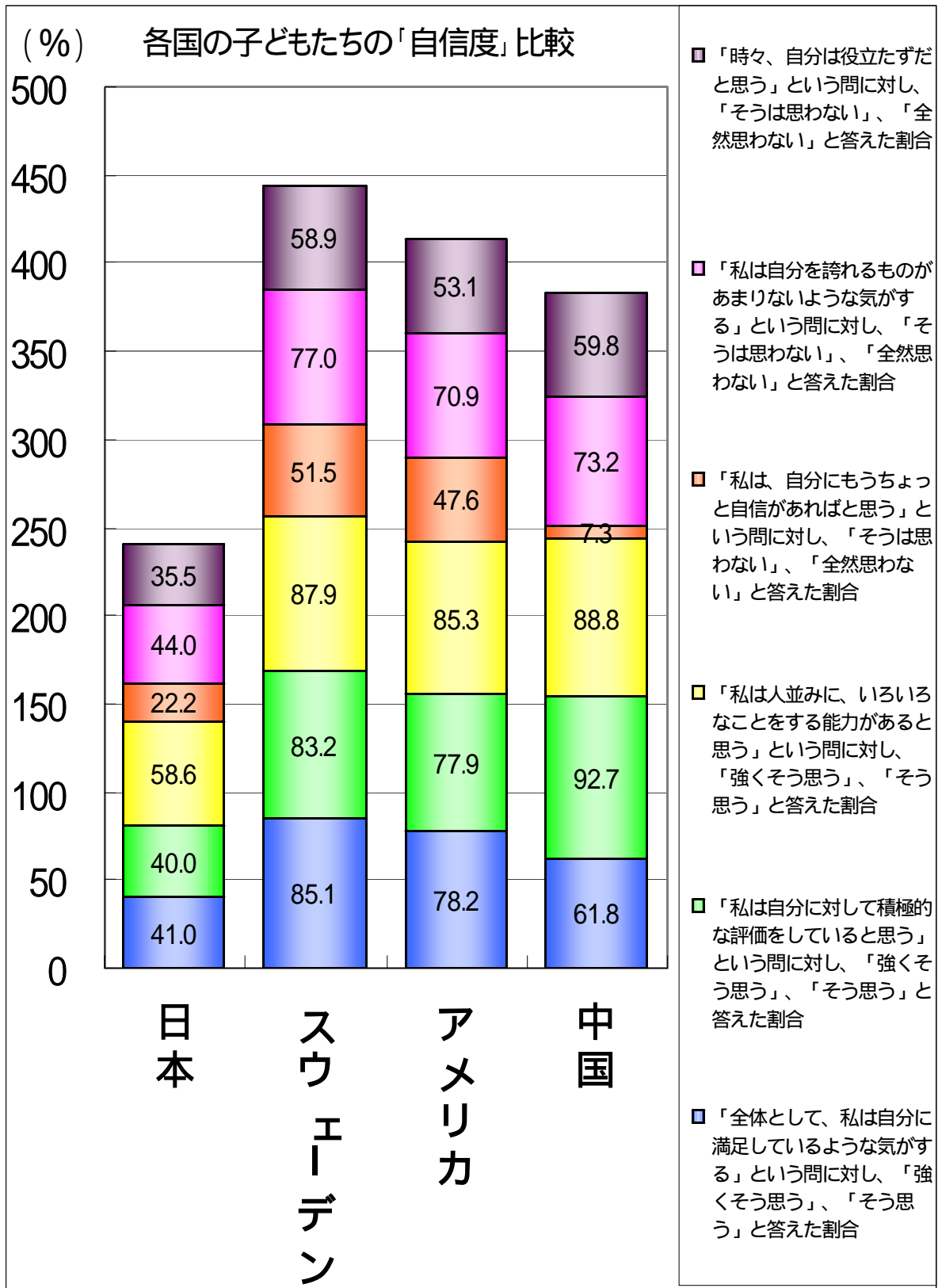


図 3 - 3 4 国 の 中 学 校 3 年 生 の 自 信 度 (自 尊 感 情) 比 較
 慶應義塾大学教授 河地和子 著書「自信力はどう育つか」(2003 朝日新聞社)

4 体力に関する資料

全国的に、昭和60年ごろを境に長期的な低下傾向が続いており、「いずれの年齢段階においても低い水準にある」とされている。

福岡県の児童生徒は、多くの項目で、小・中学生は全国平均を下回り、高校生で全国平均と同程度になる。しかし、筋持久力、柔軟性、敏捷性、巧緻性は高校生になっても全国平均を下回っている。

男子は高3まで上昇傾向にあるが、女子は中3以降に平衡傾向にある。

(1) 小中学生の運動能力の経年比較

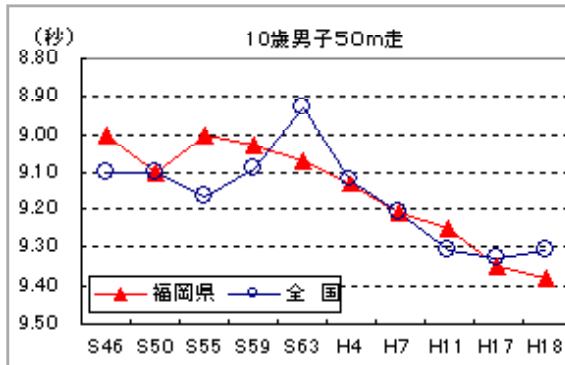


図4-1 10歳男子50m走経年比較

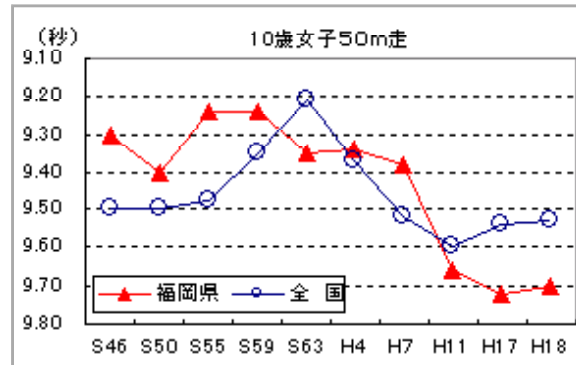


図4-2 10歳女子50m走経年比較

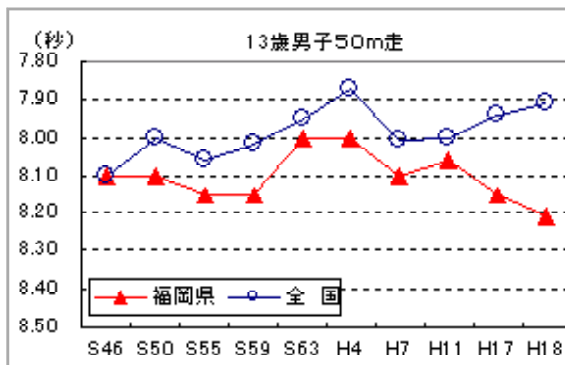


図4-3 13歳男子50m走経年比較

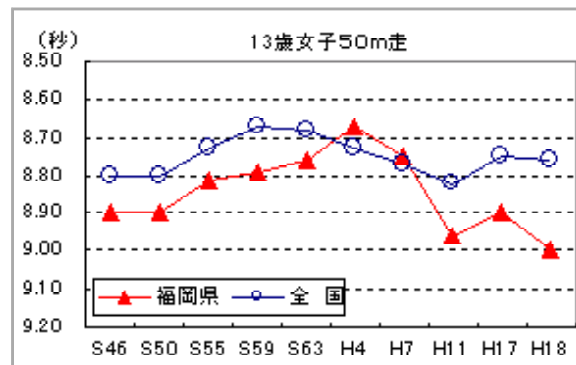


図4-4 13歳女子50m走経年比較

10歳男子は昭和55年から、10歳女子は昭和59年から、13歳男子女子とも平成4年から低下傾向にある。

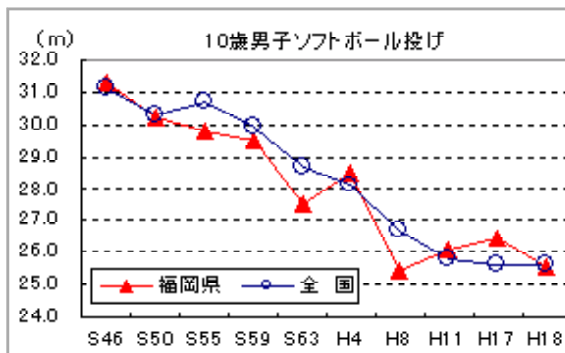


図4-5 10歳男子ソフトボール投げ経年比較

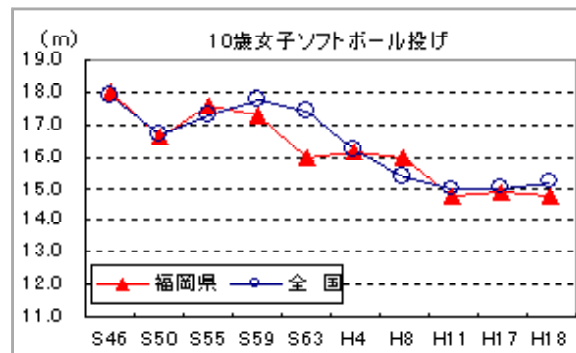


図4-6 10歳女子ソフトボール投げ経年比較

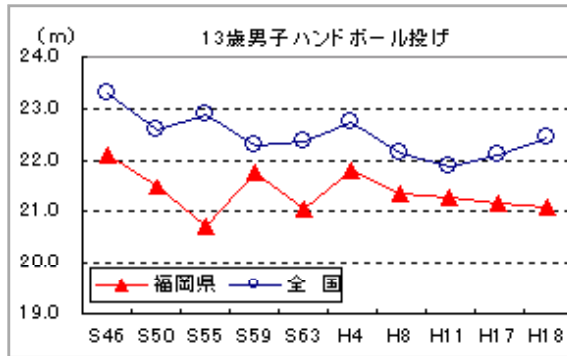


図4-7 13歳男子ハンドボール投げ経年比較

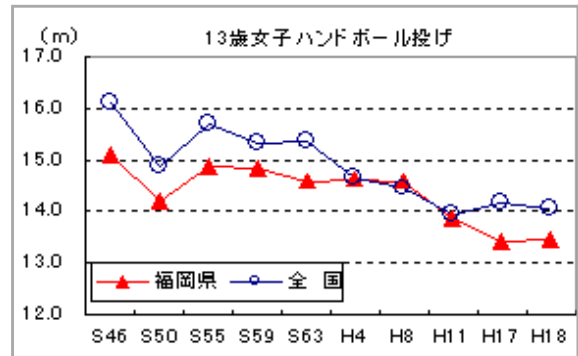


図4-8 13歳女子ハンドボール投げ経年比較

10歳男子は昭和46年から、10歳女子は昭和55年から、13歳男子は平成4年から13歳女子は昭和55年から低下傾向にある。

(2) 平成18年度の体力・運動能力調査の結果

ア 上体起こし(筋力・筋持久力の指標)の全国との比較

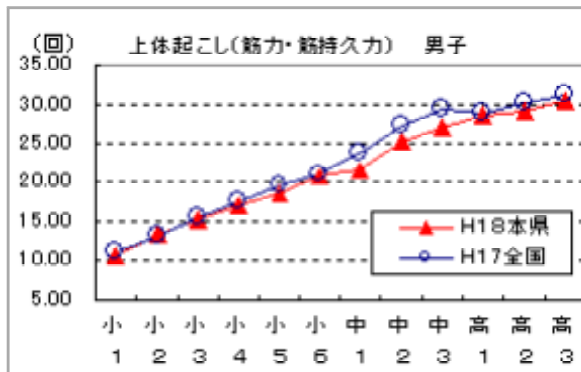


図4-9 「上体起こしの結果(男子)」

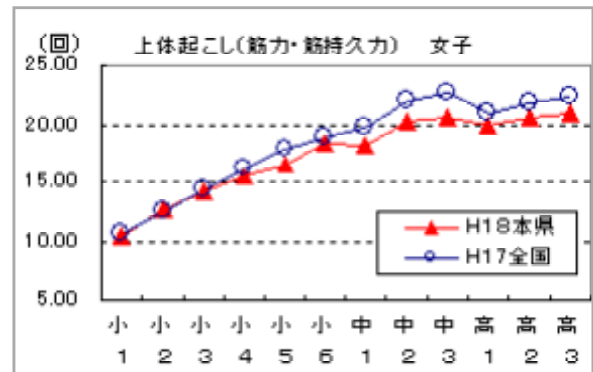


図4-10 「上体起こしの結果(女子)」

男子は中学校3年生、女子は小学校6年生まで向上傾向にあるが、男子はその後ゆるやかな上昇傾向、女子はほぼ平衡状態を示している。男女とも全国平均を下回る。

イ 長座体前屈(柔軟性の指標)の全国との比較

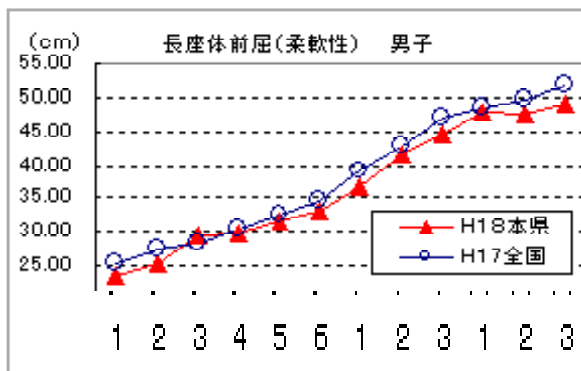


図4-11 「長座体前屈の結果(男子)」

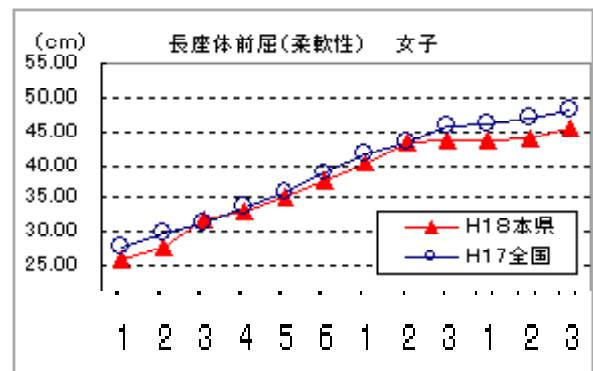


図4-12 「長座体前屈の結果(女子)」

中学校2年生までは女子が男子よりも高い水準を示しながら向上傾向にある。男女とも全国平均を下回る。

ウ 反復横とび（敏捷性の指標）の全国との比較

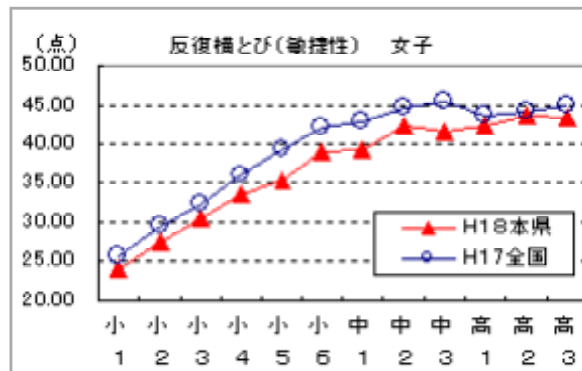
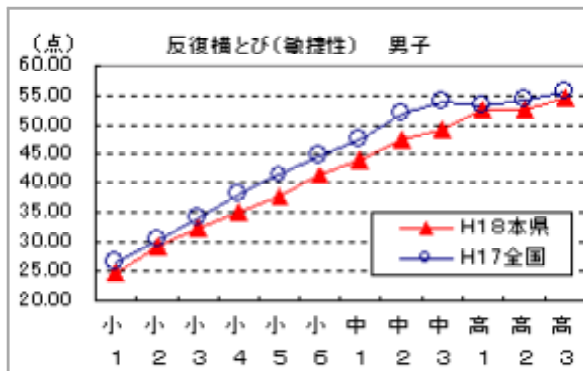


図4 - 13 「反復横とびの結果(男子)」

図4 - 14 「反復横とびの結果(女子)」

男子は高校1年生、女子は中学校2年生まで順調な向上傾向を示す。男女とも全国平均を下回る。

エ ボール投げ（投能力・巧緻性・瞬発力の指標）の全国との比較

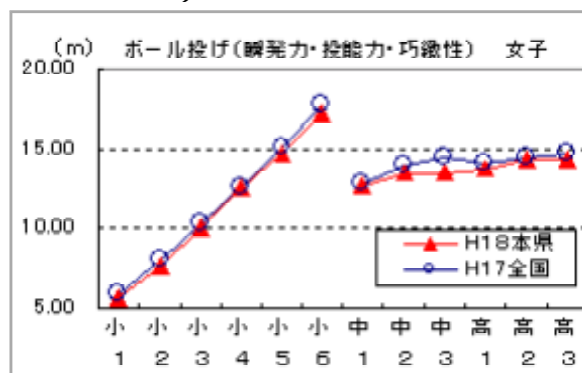
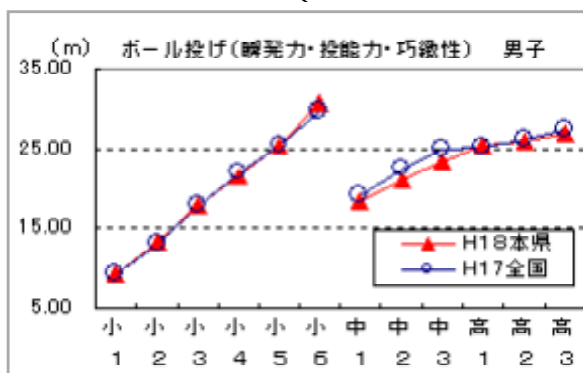


図4 - 15 「ボール投げの結果(男子)」

図4 - 16 「ボール投げの結果(女子)」

小学校では「ソフトボール投げ」、中学校以降は「ハンドボール投げ」となる。男子は、高校3年生まで順調な向上が見られる。女子は小学校は順調な向上を示すが、中学校以降、緩やかな向上、平衡状態となる。

(3) 運動部活動入部率の推移

表4 - 1 中学生運動部活動入部率 (福岡県中学校体育連盟調査)

| 中学校 | H12 | H13 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 加入者総数 | 101,636 | 98,202 | 93,940 | 91,940 | 90,086 | 89,570 | 88,521 |
| 生徒数 | 168,337 | 163,517 | 156,630 | 152,531 | 148,225 | 147,084 | 144,465 |
| 入部率 | 60.4% | 60.1% | 60.0% | 60.3% | 60.8% | 60.9% | 61.3% |

表4 - 2 高等学校運動部活動入部率 (福岡県高等学校体育連盟調査)

| 高等学校 | H12 | H13 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 部員総数 | 44,953 | 46,288 | 46,934 | 47,068 | 48,245 | 48,198 | 47,070 |
| 生徒数 | 166,592 | 163,797 | 158,499 | 151,674 | 144,926 | 140,468 | 135,179 |
| 入部率 | 27.0% | 28.3% | 29.6% | 31.0% | 33.3% | 34.3% | 34.8% |

5 生活習慣に関する資料

自立起床ができていない幼児は41%、小学生は約50%である。

(表5 - 1、2)

起床時間が7時30分以降の小学生は1.5%、睡眠時間が6時間未満の小学生は3.7%、中学生は11.3%、就寝時間が10時以降の幼児は23.3%、11時以降の小学生は4.5%である。(図5 - 1、2、3、4、5)

朝食を「時々食べる」「食べない」を合わせた割合は、幼児が16%、小学生が14.2%である。(図5 - 6、7)

1日に4時間以上テレビを視聴している幼児は6.4%、小学生は25.1%、中学生は20.6%である。(図5 - 8、9、10)

1日に2時間以上ゲームをしている幼児は5.4%、小学生は6.7%である。

(図5 - 11、12)

手伝いをしている幼児は87.4%、小学生は39.8%である。

(図5 - 13、14)

< 引用データ (図表題にある () 内の記号は以下の引用データを示す) >

A : 福岡県学習状況調査

(H18 福岡県教育委員会 回答者 小学校5年生約46千人、中学校2年生約47千人)

B : 小学校の親の養育態度・意識の実態調査

(H18 子育ておっしょい [福岡県社会教育有志の会 回答者 保護者5191人])

C : 幼児(3・4・5歳児)をもつ保護者の子育てに関する調査

(H17 福岡県立社会教育総合センター 回答者 父親1666人 母親2231人)

(1) 起床時刻と自立起床

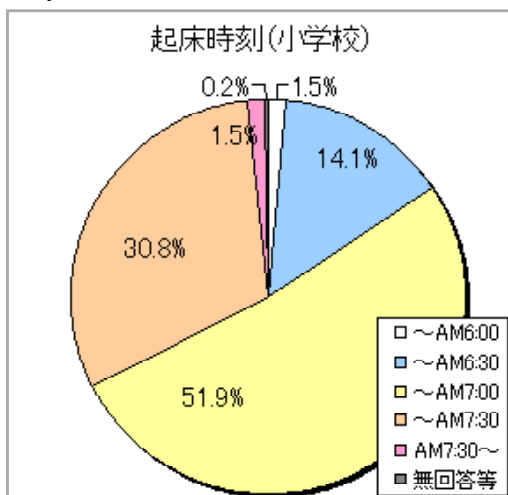


図5 - 1 小学生の起床時刻 (B)

表5 - 1 小学生の自立起床 (B)

| 問：今朝お子さんを起こしましたか。 | |
|-------------------|-------|
| 起こした | 45.7% |
| 起こさない | 49.6% |

表5 - 2 幼児の自立起床 (C)

| 今朝の起き方 | 割合 |
|------------|-------|
| 自分で起きた | 41.0% |
| 目覚まして起きた | 1.0% |
| 声をかけて起こした | 50.9% |
| 起きるまで放っていた | 5.0% |
| 無回答等 | 2.1% |

(2) 睡眠時間

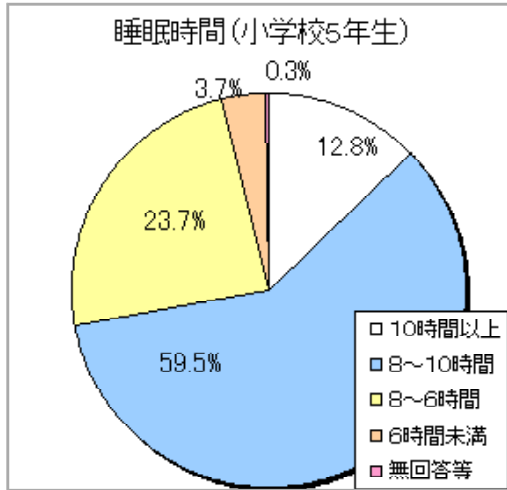


図 5 - 2 小学校 5 年生の睡眠時間 (A)

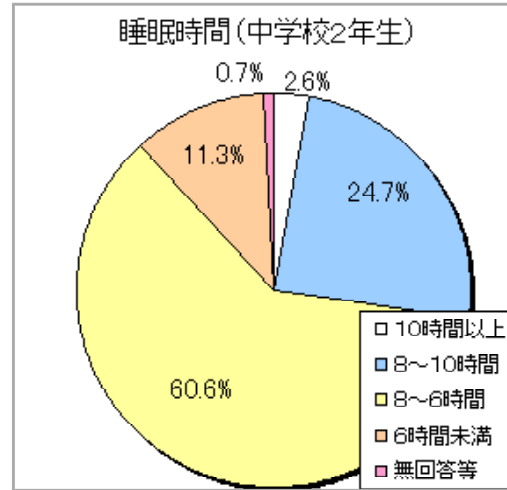


図 5 - 3 中学校 2 年生の睡眠時間 (A)

(3) 就寝時刻

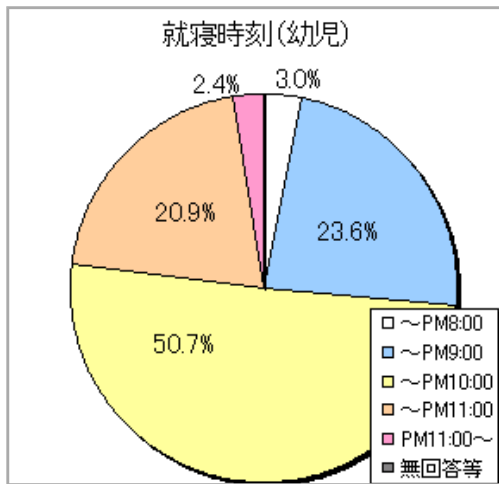


図 5 - 4 幼児の就寝時刻 (C)

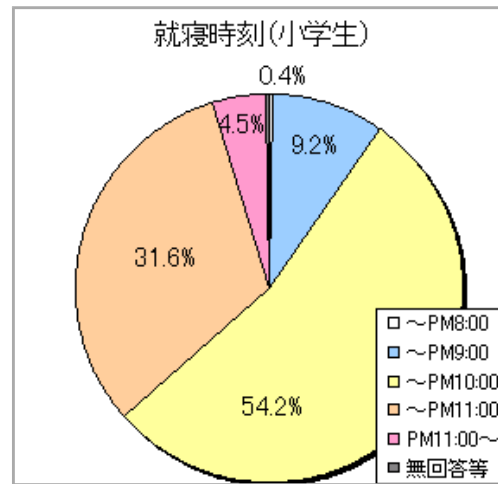


図 5 - 5 小学生の就寝時刻 (B)

(4) 朝食の習慣

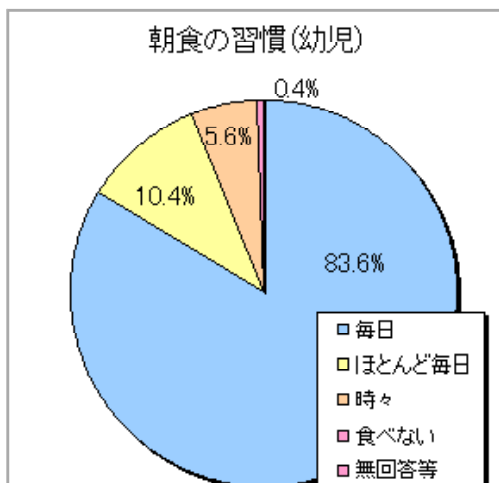


図 5 - 6 幼児の朝食の習慣 (C)

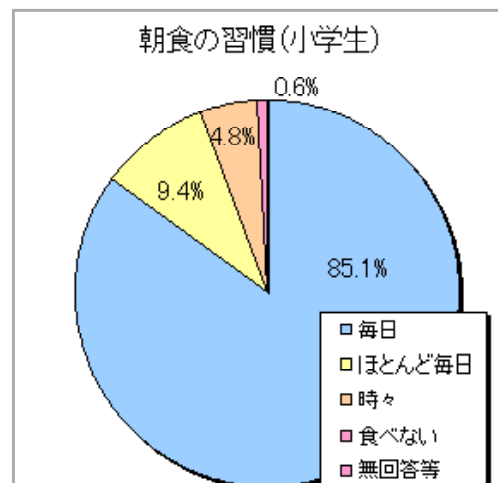


図 5 - 7 小学生の朝食の習慣 (B)

(5) 1日のテレビ視聴時間

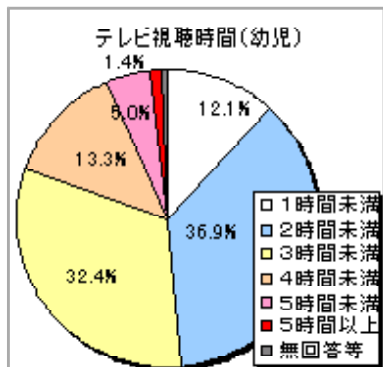


図5-8 幼児のテレビ視聴時間(C)

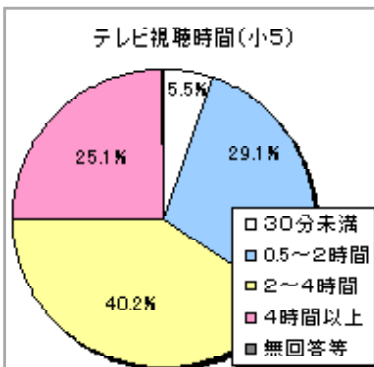


図5-9 小学5年生のテレビ視聴時間(A)

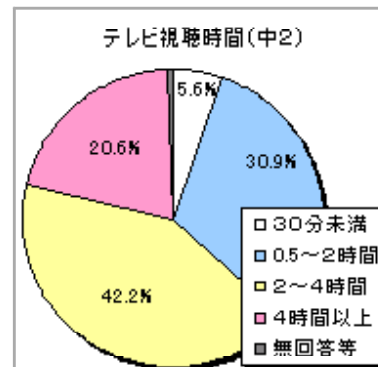


図5-10 中学2年生のテレビ視聴時間(A)

(6) 1日のゲーム時間

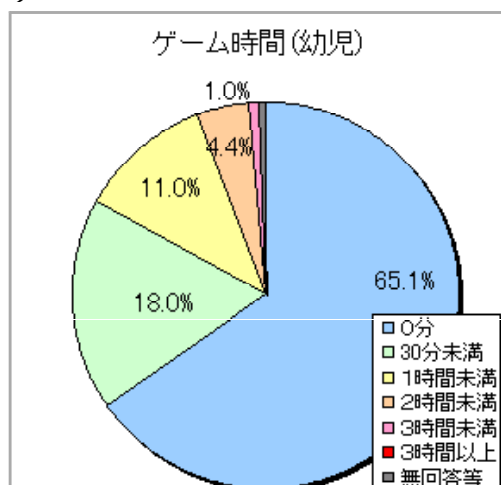


図5-11 幼児のゲーム時間(C)

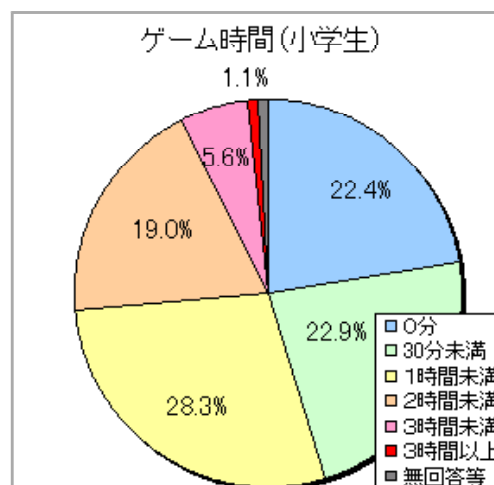


図5-12 小学生のゲーム時間(B)

(7) 手伝い

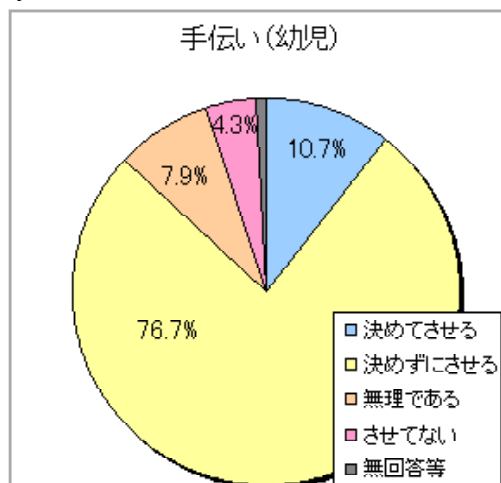


図5-13 幼児の手伝いのさせ方(C)

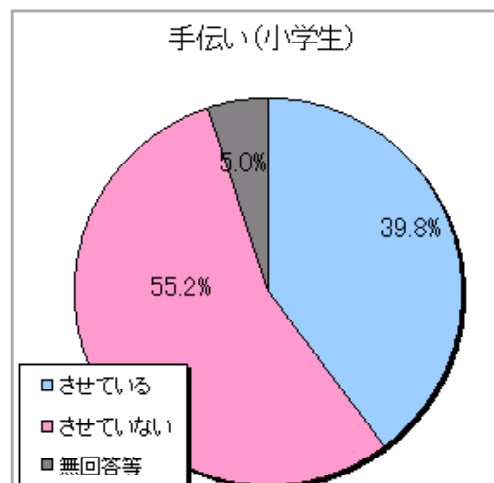


図5-14 小学生の手伝いの有無(B)

6 家庭教育、親の養育態度に関する資料

出かける前の「持ち物」を7割程度の母親が注意している。(図6-1)

子供の「遊びの内容や方法」まで6割の親が注意している。(図6-2)

親としての「子供のしつけ」等の学習は年々減少している。(図6-3)

小学校の親の養育態度・意識の実態調査

(H18 子育ておっしょい[福岡県社会教育有志の会 回答者 保護者5191人)

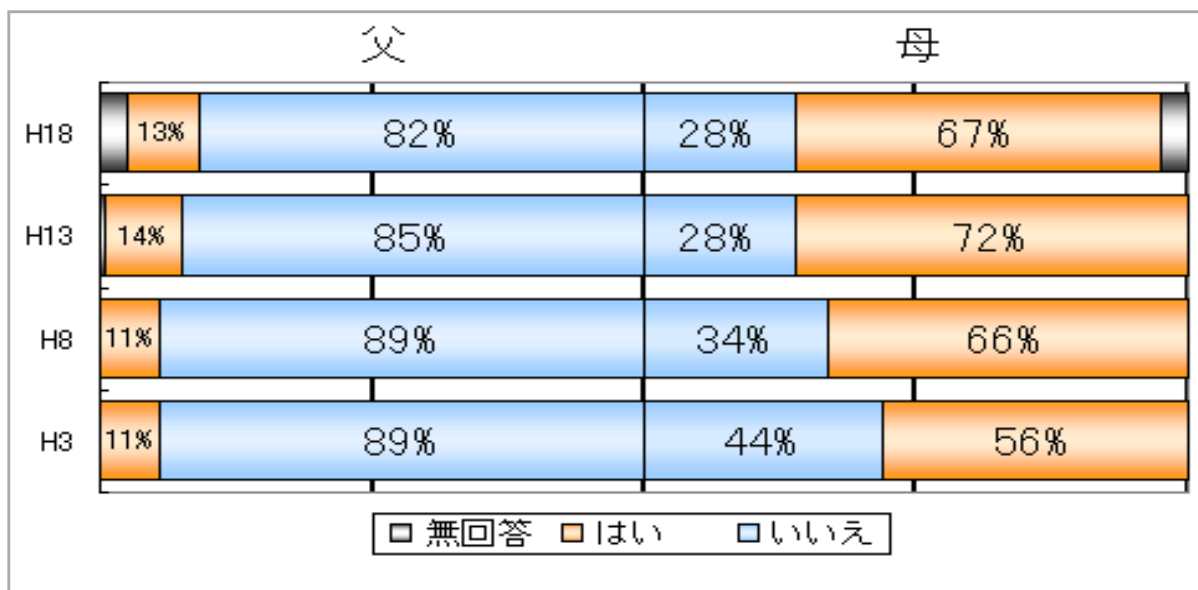


図6-1 今朝お子さんが出かける前に持ち物について注意しましたか

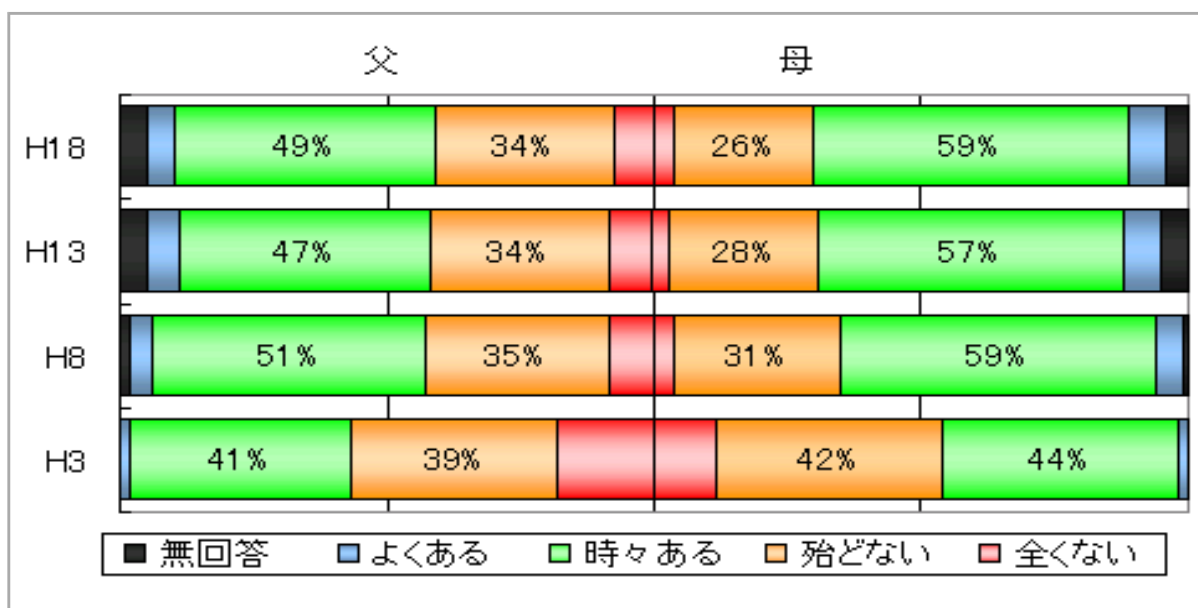


図6-2 お子さんの遊びの内容や遊び方について、いちいち注意することがありますか

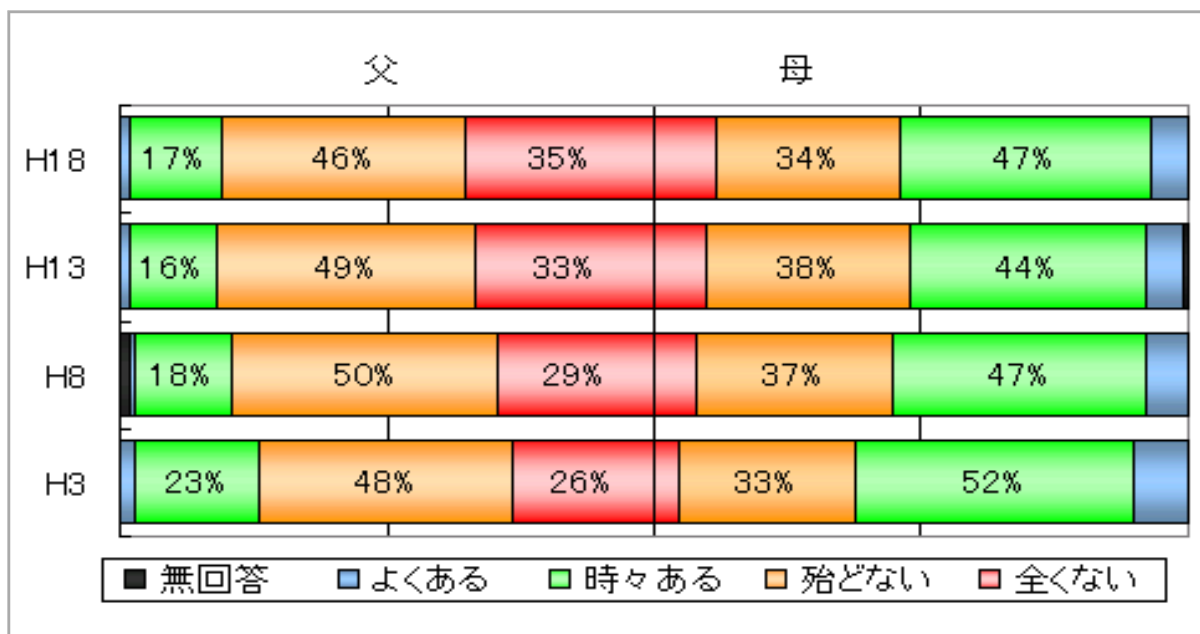


図6 - 3 しつけについて本を読んだり、テレビをみたり、講演会に行ったりしますか

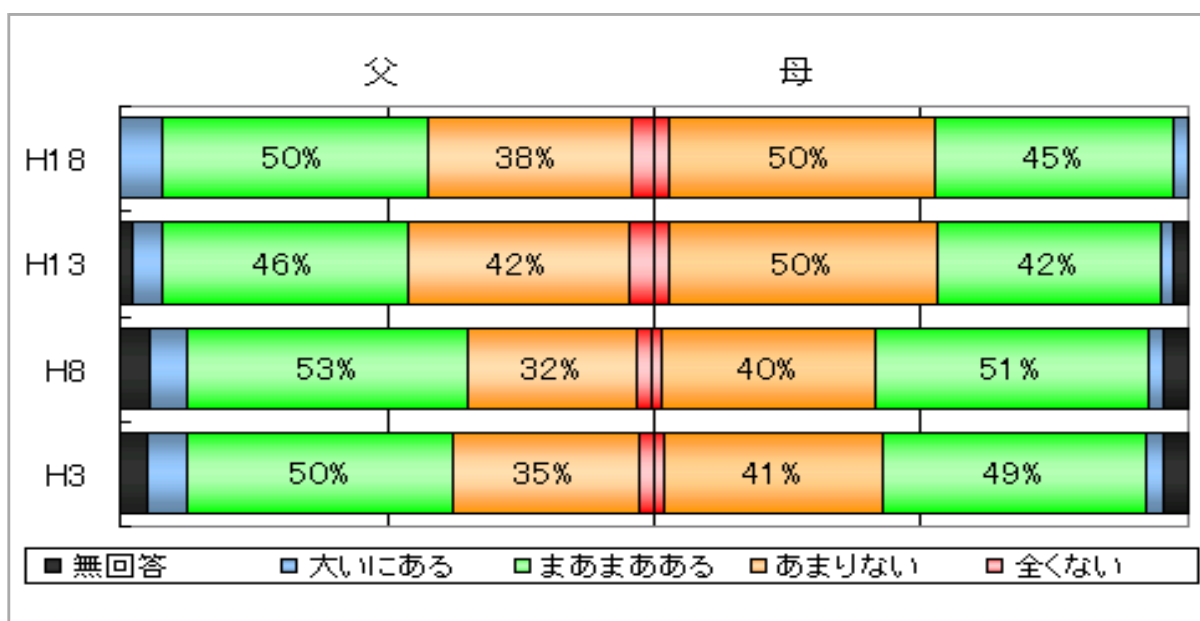


図6 - 4 お子さんのしつけについて自信がありますか

7 幼児教育に関する資料

| | | |
|--|---------|----------|
| 小学校入学者における幼稚園修了者の割 (平成18年度 文部科学省調査) | 全国57.7% | 福岡県53.4% |
|--|---------|----------|

表7-1 各施設等別0～5歳児数(平成18年度)

| | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|
| <p>0～5歳児数 約269千人</p> | 保育所 (A) | 幼稚園 (3～5歳)(B) | 認可外 保育施設(C) | 在宅等その他 (D)・(A+B+C) | 計 (D) |
| | 91千人 | 66千人 | 8千人 | 104千人 | 269千人 |
| | 33.8% | 24.5% | 2.9% | 38.8% | |
| | 保健福祉部 子育て支援課 調査 | 教育庁総務部 総務課 調査 | 保健福祉部 子育て支援課 調査 | | 企画振興部 調査統計課 調査 |

表7-2 県内幼稚園と地域社会との連携状況(平成18年度 文部科学省調査)

| | 公立 | 私立 |
|------------------------------|----|-----|
| 地域の公園を幼稚園の教育活動に活用している | 44 | 266 |
| 地域の児童館を " | 3 | 11 |
| 地域の公民館を " | 22 | 65 |
| 地域の図書館を " | 20 | 62 |
| 上記に掲げた以外の地域の施設(例:博物館等)を " | 23 | 143 |
| 地域の民生・児童委員との連携を図っている | 22 | 74 |
| 市町村の保健センターとの連携を図っている | 26 | 79 |
| 児童相談所との連携を図っている | 10 | 75 |
| 地元の警察署等との連携を図っている | 43 | 201 |
| カウンセラー等の専門家に一定の日数、来てもらっている | 9 | 42 |
| 地域の特色ある人材をボランティア、講師等で招いている | 41 | 106 |
| 子育てに関心のある人をボランティアとして活用している | 19 | 52 |
| 子育て支援のNPO等の団体と連携している | 2 | 18 |
| 小学生、中学生、高校生又は大学生と園児の交流を図っている | 60 | 308 |
| ホームページ等により幼稚園の情報を地域等に発信している | 31 | 233 |
| 地域の祭りに参加するなど地域の触れ合い拠点になっている | 28 | 172 |
| 幼稚園自らが地域の子育てボランティア等を育成している | 3 | 14 |
| 近隣の小学校と学校行事等での連携・交流を図っている | 59 | 269 |
| 近隣の保育所と行事等での連携・交流を図っている | 24 | 62 |

表7-3 福岡県内の認定こども園設置状況

| 施設名 | 類型 | 公私区分 | 認定日 |
|------------------|-------|------|----------|
| 認定こども園アザレア幼児園 | 幼保連携型 | 公立 | 2007.4.1 |
| 認定こども園きっずくらみなみ | 地方裁量型 | 私立 | 2007.4.1 |
| 認定こども園江上保育園 | 保育所型 | 私立 | 2007.4.1 |
| 認定こども園むろずみこども園 | 幼保連携型 | 私立 | 2007.4.1 |
| 認定こども園キッズドリーム幼児園 | 地方裁量型 | 私立 | 2007.4.1 |
| 認定こども園恵星幼稚園 | 幼稚園型 | 私立 | 2007.4.1 |

8 子どもとメディアに関する資料

～子どもとメディアに関する意識調査～

平成19年3月（社団法人 日本PTA全国協議会）

表8 - 1 携帯電話の所持の状況

| | 小学生保護者 | 中学生保護者 |
|-----------------------|--------|--------|
| 子ども専用の携帯電話、PHSを持たせている | 7.2% | 5.3% |
| 一般の携帯電話、PHSを持たせている | 7.6% | 34.7% |
| 携帯電話、PHSを持たせていない | 82.9% | 57.3% |
| 無回答 | 2.3% | 2.7% |

表8 - 2 1日のメール送受信数

| 1日のメール送受信数 | 小5年 | 中2年 | 1日の通話時間 | 小5年 | 中2年 |
|------------|-------|-------|----------|-------|-------|
| 1～5通 | 28.9% | 15.6% | 1～5分 | 40.2% | 31.4% |
| 6～10通 | 13.0% | 15.1% | 6～10分 | 15.9% | 7.7% |
| 11～20通 | 7.2% | 13.6% | 11～20分 | 4.1% | 4.3% |
| 21～30通 | 5.2% | 13.0% | 21～30分 | 1.4% | 2.4% |
| 31～50通 | 1.4% | 9.8% | 31～50分 | 1.2% | 1.9% |
| 51通以上 | 1.4% | 14.4% | 51分以上 | 0.9% | 2.3% |
| ほとんど使わない | 30.9% | 5.5% | ほとんど使わない | 23.7% | 37.1% |
| 分からない | 4.0% | 10.8% | 分からない | 3.8% | 10.1% |
| 無回答 | 7.8% | 2.2% | 無回答 | 8.7% | 3.1% |

表8 - 3 携帯電話等へのフィルタリングサービス導入の有無

| | |
|---------|-------|
| 導入している | 30.0% |
| 導入していない | 65.3% |
| その他 | 3.2% |
| 無回答 | 1.5% |

表8 - 4 携帯電話、PHS利用についての家庭内のルールの有無

| | 小学生 | | 中学生 | |
|--------------------|-------|-------|-------|-------|
| | ある | ない | ある | ない |
| 使用時間の長さ（1日3分以内等） | 56.2% | 40.8% | 45.1% | 50.4% |
| 使用時間帯（夜8時まで等） | 53.2% | 43.1% | 32.7% | 61.2% |
| 使用内容（WEBを使わない等） | 72.2% | 25.1% | 55.4% | 40.2% |
| 使用方法・マナー（食事中はでない等） | 66.2% | 30.4% | 62.7% | 32.9% |

表 8 - 5 有害な情報へのアクセス状況

| | 小5年生 | 中2年生 |
|---------------------|-------|-------|
| 他人の悪口や不快な言葉が出てくるもの | 2.4% | 13.0% |
| アダルト画像など、性的な描写があるもの | 1.1% | 9.3% |
| 暴力的な描写や残虐な画像があるもの | 1.4% | 7.1% |
| 出会い系サイトに関するもの | 0.7% | 5.4% |
| 自殺の方法に関するもの | 0.8% | 3.7% |
| 風俗などでのアルバイトに関するもの | 0.7% | 3.5% |
| 犯罪の手口などに関するもの | 0.6% | 3.0% |
| 爆発物など危険物の作り方に関するもの | 0.6% | 2.7% |
| 麻薬や毒物に関するもの | 0.6% | 2.5% |
| 家出に関するもの | 0.6% | 2.2% |
| その他 | 2.6% | 1.0% |
| 特になし | 72.0% | 55.7% |
| 無回答 | 19.4% | 21.1% |